

養父市記者発表資料 (**発表** ・ ~~資料配布~~)

養父市記者発表資料 (発表 ・ 資料配布)			資料番号
発表日	担当部課 (室) 名	電話 (内線)	発表者職氏名 (担当者職氏名)
1月10日 (水)	産業環境部 商工観光課	079-664-0289	課長 柳川 武 (主事 苗村 孝之)
【報道解禁】新聞： 月 日 () 朝刊 テレビ・ネット： 月 日 () 時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

(有)松田甚兵衛商店 新商品の発表について

「ゆば甚」として店舗を構え、生ゆば等のゆば商品の製造・販売を行う「(有)松田甚兵衛商店」が、養父市の企業間連携推進支援事業を活用し、以下のとおり新たな商品を完成させ、販売することになりましたので発表します。

1 商品名及び内容

(1)「ゆばきんぴら」 (2)「ゆばちりめん」 (3)「ゆばと丹波地鶏の味噌煮」 ※価格は各490円 (税込)

八鹿の湯葉料理の店「中村屋」監修のもと、養父市在来種の大豆「八鹿浅黄」を使用したゆばに、養父市特産の朝倉山椒を程良く効かせ、昔懐かしい「お袋の味」にこだわって作りました。ご飯のおかず、お酒のお供に、ぜひご賞味ください。

2 開発にかける想い

ゆばの原料である大豆は、栄養価が非常に高く健康食材として使用され、超高齢化社会が到来する時代にも相応しい食材ですが、調理法や食べ方が分からない方も多く、食卓に並ぶ機会が少ないのが現状です。

そこで、ゆば料理を身近な食材として感じ取って頂くために、調理せずに食べられる商品を開発することにしました。開発は、地元でゆばを使った創作料理を手掛けている「中村屋」の監修です。地域で栽培された食材をふんだんに使用し、但馬の特産品として発信することを目的に、パッケージには昔の但馬地域の地図を使用しています。

ゆば料理が一般家庭の食卓に並ぶポピュラーな食材として浸透させるための足掛かりになる商品として誕生しました。

3 販売開始日

平成 30 年 1 月中旬

4 取扱店舗

ゆば甚及び中村屋の店舗、道の駅 (ようか但馬蔵、まほろば)、ゆば甚ホームページ

5 問い合わせ先

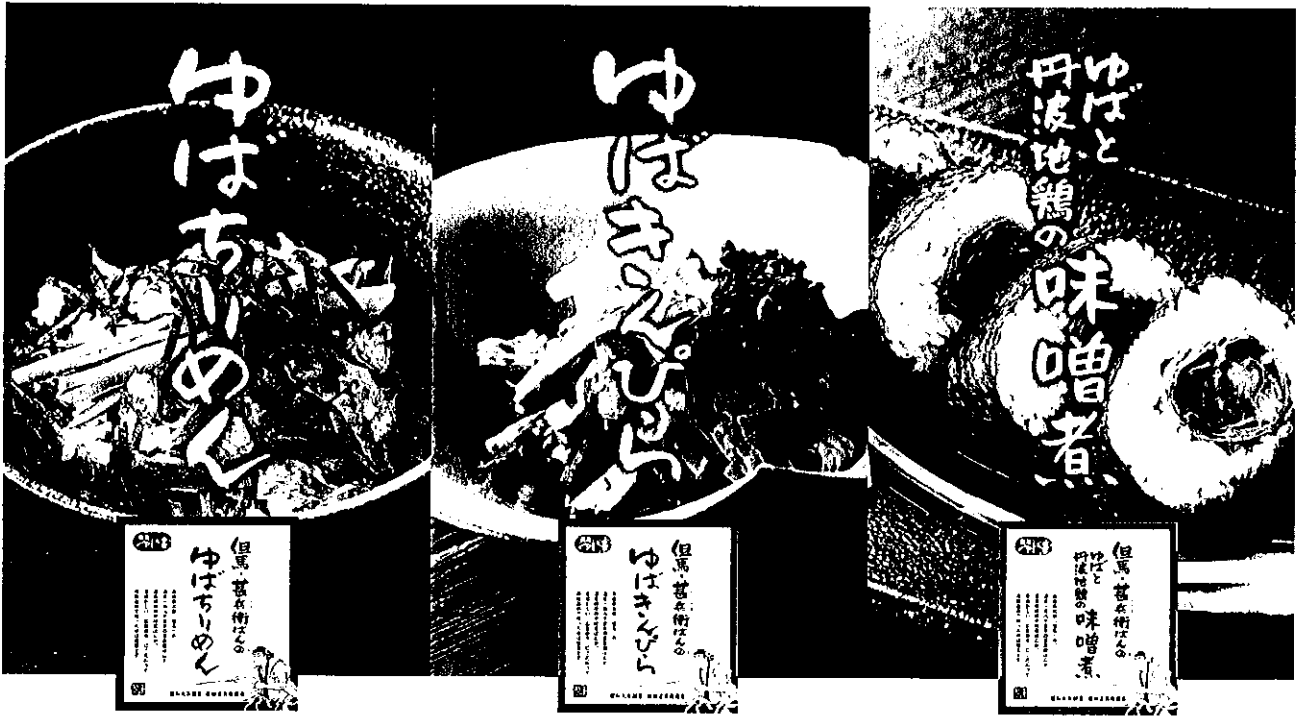
(有)松田甚兵衛商店 (担当：松田 正司)

〒667-0114 兵庫県養父市小城 597

TEL 079-664-0258 FAX 079-664-0291

電子メール yubajin@yubaya.com ホームページ <http://www.yubaya.com/>

6 商品イメージ



「但馬」の、湯葉一筋八十余年の甚兵衛はんと、湯葉料理の中村屋はんが、昔懐かしい「お袋の味」にこだわって丹精込めて作ったゆば惣菜です。

ゆばの原料には、地元を受け継がれた日本古来の大豆を使っています。



養父市記者発表資料 (発表) 資料配布)

			資料番号
発表日	担当部課 (室) 名	電話 (内線)	発表者職氏名 (担当者職氏名)
1月10日 (水)	学校教育課	079-664-1627	課長 藤本和隆 (建屋小学校長 米田規子)
【報道解禁】新聞: 月 日 () 朝刊 テレビ・ネット: 月 日 () 時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

養父市立建屋小学校：小規模特認校制を活用した就学希望の受付について

1 趣 旨

養父市において小規模特認校制を活用した特認校を設置することにより、学校規模を生かした特色ある教育の展開に資する環境整備を図り、子供の社会性等の豊かな伸長に寄与するとともに、「地域とともにある学校づくり」をさらに促進させるための学校と地域の連携・協働体制のパイロットモデルを構築し、学校の活性化と地域力創造に向けた取組の一層の推進に資する。

2 広報チラシについて

小規模特認校制を活用し、従前の建屋小学校区外からの就学について、別添チラシにより広報し、就学希望の受付を始める。

〈配付範囲〉

- ・市内の小学校に在籍する児童がいる全家庭
- ・5歳児のいる全家庭
- ・従前の建屋小学校区 (建屋・三谷地区) の全戸
- ・各地域局や公民館等

3 建屋小学校の主な取組について

建屋小学校校区 (建屋・三谷地区) の豊かな環境を生かした確かな学びと本物の体験を柱に、世界とつながる力を培う教育の創造。

〈主な取組①〉

演劇の活動を通して表現力を高める取組

- ・県立ピッコロ劇団との連携による創作劇「ふるさとたきのや物語」の上演、保護者等向けのワークショップやセミナーの実施

〈主な取組②〉

日常的に、系統的に英語力を高める取組

- ・ALT (外国語指導助手) の常駐
- ・オンライン英会話の活用
- ・インターナショナルスクールとの交流
- ・海外でのホームステイの実施

平成30年度から準備開始

〈その他の取組〉

日米お笑いコンビのパイオニア「バックン・マックン」を年間2回 (予定) 招聘し、世界とつながるための会話力や子育て等の在り方について、教職員、親子、地域が学ぶ

セミナーを開催する。また、英語教育・国際理解教育の充実に向けて助言を得る機会とする。

4 取組の推進について

平成30年4月からの実施に向けて、PTA役員や地域の有識者を中心とした建屋小学校「小規模特認校推進委員会」を立ち上げ、取組の方向性や環境整備等について協議を図っている。(現在、委員13名で構成。今後、大学教授等の学識経験者を2名加える予定。事務局は、小学校管理職が対応。)

5 今後の予定

- ・学校公開 平成30年1月10日(水)～1月19日(金)
- ・小規模特認校についての説明会 平成30年1月16日(火) 19:00～ 養父公民館にて
- ・入学・進級説明会 平成30年1月23日(火)
- ・面談実施期間 平成30年1月24日(水)～2月15日(木)
- ・オープンスクール 平成30年2月 3日(土)
- ・指定校変更申請書 平成30年2月20日(火)までに市教委に提出
- ・指定校変更許可書 平成30年3月 1日(木)までに市教委から送付

6 問い合わせ先

教育委員会学校教育課 (Tel 664-1627)
建屋小学校 (Tel 666-0240)

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
1月10日（水）	市民生活部大屋地域局	079-669-0120	大屋地域局長 杉本彰洋 （主事 岩見ちはる）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

第24回公募展木彫フォークアートおおや作品集について

平成29年9月22日から10月9日にかけて開催しました「第24回公募展木彫フォークアートおおや」の入賞・入選作品を収めた作品集が完成いたしましたのでお知らせします。

1 第24回作品集概要

（1）規格

B5判 48ページ

表紙・裏表紙：カラー

本文：カラー・入賞6作品（大衆賞含む）、モノクロ・入選作品39作品

（2）価格

1冊 1,000円 ※別途送料が必要です。

（3）発行部数

500部

（4）その他

●なくなり次第、販売を終了します。

●第7回～第23回公募展作品集及び第20回記念図録の販売も随時行っています。（第1回～第6回作品集は完売）

2 注文方法

（1）電話

木彫フォークアートおおや実行委員会事務局（大屋地域局）へ電話し、必要事項をお伝えください。

（2）FAX、メール

郵便番号、住所、氏名、電話番号、注文部数を明記し木彫フォークアートおおや実行委員会事務局（大屋地域局）へ送信してください。

3 問合せ 養父市役所大屋地域局内 木彫フォークアートおおや実行委員会事務局

〒667-0311 養父市大屋町大屋市場20番地1

電話 079-669-0120 FAX 079-669-1682

メール folkart@city.yabu.lg.jp



第24回 公募展
木彫フォークアートのおおや
—あるまじき命の死—



山田洋次記念賞



山田洋次記念賞
受賞者
山田洋次記念賞
受賞者
山田洋次記念賞
受賞者

山田洋次記念賞



山田洋次記念賞
受賞者
山田洋次記念賞
受賞者
山田洋次記念賞
受賞者

養父市記者発表資料（資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
1月10日（水）	やぶぐらし課	079-662-3172	主幹 片芝 誠
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

**第6回日本「住みたい田舎」ベストランキングで養父市が
近畿エリア部門で2年連続上位ランクイン**

田舎暮らしの本（2018年2月号 宝島社）の『2018年版 第6回日本「住みたい田舎」ベストランキング』におきまして、養父市は近畿エリア総合第2位（小さなまちグループ 全国第14位）にランクインいたしました。

このランキングは、移住者向け専門誌「田舎暮らしの本」が、独自のアンケート調査をもとに定住促進に積極的な市町村の魅力を数値化したものです。

今回、「総合」、「若者世代」、「子育て世代」、「シニア世代」の4部門で、養父市は以下のとおりランクインしています。

★総合ランキング	近畿エリア第2位（小さなまちグループ全国14位）
☆若者が住みたい田舎	近畿エリア第2位（同グループ 全国12位）
☆子育て世代が住みたい田舎	近畿エリア第4位（同グループ 全国34位）
☆シニア世代が住みたい田舎	近畿エリア第1位（同グループ 全国8位）
☆窓口職員「がんばりました」ランキング	（全国6位）

これからも、こうした評価を励みに、きめ細かな対応で移住定住を全力でサポートしていきます。

問い合わせ又は申込み先

養父市役所やぶぐらし課

〒667-8651 兵庫県養父市八鹿町八鹿1675番地

電話：079-662-3172

E-mail：yabugurashi@city.yabu.lg.jp